

レールライフ実践人 vol.7 「日本海ガス株式会社様（前編）」



レールライフ実践人では、公共交通を活用して「かしこいクルマの使い方」を実践している人々をご紹介します。

第7回となった実践人紹介では、
11月10日に発売されたTakt12月号のレールライフ実践人紹介と連動し、
レールライフを実践している企業と社員の方々の実践術をさらに詳しくお伝えします。



ご紹介する日本海ガス株式会社様は、
今年度に国のエコ優良通勤事業所認定を受け、
富山県ノーマイカー運動優良企業表彰を受賞されるなど、
車と公共交通を適度にバランス良く利用する「エコ通勤」を企業として積極的に薦めています。
まずは前編として、日本海ガス株式会社によるエコ通勤の取組みについて、
担当の山崎さんにお話を伺いました。

■エコ通勤の取組みについて

「日本海ガスでは、マイカー通勤者を対象として、
月2回の「ノーカーデー」(車以外での出勤日)を実施しています。
平成14年から富山県が呼びかけているノーマイカー運動が始まることなどをきっかけ
として、
また環境活動の一環として平成14年3月から始めました。

ノーカーデーの実施日は、参加社員がそれぞれ自由に設定できます。
ノーカーデーの日はマイカーを使わず、
徒歩・自転車、公共交通機関(電車やライトレール)、
或いは自動車に相乗りでの通勤を実践してもらっています。」

■ノーカーデーをやってよかったこと

「ノーカーデーの際に自転車通勤する人は、健康目的の人が多と思います。
相乗りの人は、なんとなく家が近かったり、面識があったりで、自然とペアが出来まし
た。
車の中でも仕事の話ができるし、
社外でもコミュニケーションが深まっているかもしれないですね(笑)

■「普段」「ノーカーデー」それぞれの交通手段

「普段はほとんどがマイカーです。
本社は駅からも近く、公共交通で通勤できるように思うのですが、

現状は 85%くらいがマイカー通勤です。

ノーカーデーの時は相乗りや自転車に乗る社員が多いですね。

自宅の最寄りにライトレールがある人は、ライトレールを利用するようですが、強制的な活動ではないので、例えば子どもの送迎などでどうしても参加が難しい人などは、

それぞれの事情に応じて通常通り自動車での通勤を選択してもらっています。」



■会社側からのノーカーデー支援策

「ノーカーデー参加者が公共交通等を利用して通勤した場合は、距離に応じたインセンティブや、公共交通利用の実費を支給しています。また、普段の通勤手段が徒歩・自転車の方には、一定の手当を支給しています。

また、社内の環境活動組織として、各部署にエコリーダーが配置されています。エコリーダーを中心に、メールやイントラネットなどを利用して社内の連絡や取組みの案内を行っています。ノーカー通勤を行った人を集計し、実施日・回数・CO2 排出削減量を計算しています。

部署毎に集計した結果は社内のイントラネット上で公開しています。これは競い合わせるためではなく、社員全員でこれだけを削減した、というのを共有するための発表です。

さらに昨年からは、環境行動目標としての数値目標を導入しました。」



■10年ノーカーデーを継続出来た秘訣と課題

「参加している人も含めて若干固定化しているかもしれないです。排出削減量もここ5年程度は大きな変動はありません。でも、やめようという意見はありません。とくに今年になって色々な方からお褒めのことばを頂くことがあって、やってきたことは意味のあることだったんだなと実感しています。」

10年間続きましたが、強制せずに「出来るときにやってください」というスタンスが長続きした要因かもしれません。例えば飲み会があるときに公共交通で出社することで、ノーカーデーに参加したことになります。そのくらいがいいのかも。」

「また、本社では昨年、57%の社員がノーカーデーに参加しました。会社全体では概ね50パーセントくらいの参加率になると思います。公共交通と通勤時間が合わないのがノーカーデーに参加できない大きな要因の1つで、バスが時間通りに来なかったりという経験をする、通勤に使うのは難しく思っています。」

本社の場合は丁度ライトレールの最寄り駅が無く、

ライトレールが出来てからバス路線も廃止になったため、最寄りが富山駅で、1km程度の距離になります。

都会の人なら1kmくらい歩くことは普通ですけど、富山の人だと10分15分歩くことにも抵抗感がありますよね。また、岩瀬工場の場合はライトレールの電停が近いのですが、工場自体が3交代制のため、公共交通を使いこなすのが難しい状況です。

あくまで個人的な意見ですが、例えば県内一斉ノーマイカーウィークの時に合わせて、公共交通機関を利用しやすくなるように始業時間を調整出来たら、参加しやすくなるかもしれないと思います」



■山崎さんの公共交通利用法と、公共交通への思い

「私は普段から徒歩、自転車通勤です。通勤時にずらっと渋滞する車を横目に自転車で走りながら、これは仕事柄かもしれませんが、自分の力で移動してCO2 排出削減に貢献できることに喜びを感じます。笑

交通機関ではバスが好きです。普段は自転車通勤をしているけど、何か目的があって移動するときはバスを使うことが多いですね。

公共交通での通勤については、「本数が少ないとか時間があわないので難しい」という人が多いのですが、利用者が増えないと便利になりませんよね。

公共交通を利用することが簡単にできる地域貢献活動でもあると考え、

みんなで公共交通を盛り上げていきたいですね。
そのためにできることを会社としてもやっていきたいと思います。

社内でも公共交通機関が好きな人を中心に公共交通の良いところを伝えるとか、そんな風になったらいいなと思うんです。
ある支店では、自転車が好きな社員を中心に、自転車利用が流行ってきています。
引っ張る人の有無で変わることもあると思います。」

■ここまでのまとめ

日本海ガス株式会社さんに学ぶ、「エコ通勤を続けるコツ」は

- ・気軽に参加しやすい仕組み
- ・強制しないで自主的な参加
- ・競い合わずに楽しもう

ということでした！後編へ続きます！

■日本海ガス株式会社 会社概要

- ・本社：富山市城北町2番36号
- ・URL：<http://www.ngas.co.jp/>
- ・公式 Facebook ページ：<https://www.facebook.com/ngas.inc/>